

# 月平均 500mb 天気図. 1991年 1月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

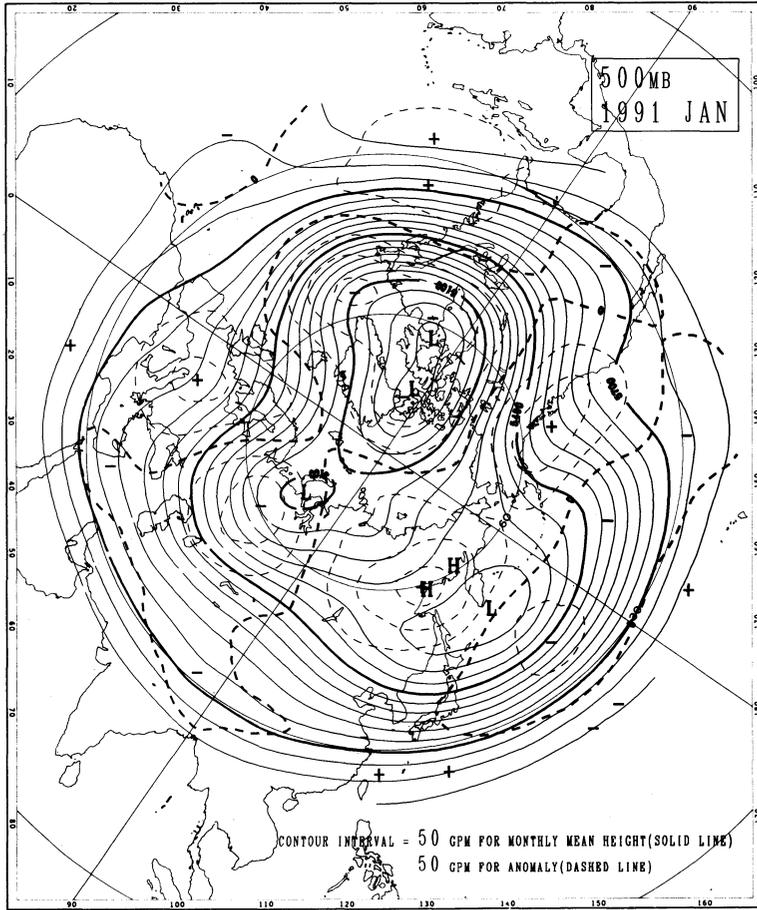


表1 1991年 1月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	4.1	0.8	0.4	70	139	4	カサブランカ	11.6	-1.1	-1.0	4	6	0
ベルリン	2.4	2.6	1.0	25	62	1	ニオロドサヘル	25.8	2.6	1.6	0	0	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	22.5	0.8	0.7	174	117	5
イスタンブール	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	1.6	-0.9	-0.5	157	102	3
モスクワ	-6.2	3.3	0.9	48	108	—	ニューオリンズ	11.6	0.1	0.0	489	390	6
オデッサ	0.6	1.9	0.7	9	20	1	セントルイス	-1.5	0.1	0.0	39	89	3
ニューデリー	13.7	-0.5	-0.6	0	0	1	サンフランシスコ	10.1	0.9	0.8	6	5	0
カルカッタ	20.4	0.2	0.3	23	136	5	ニューヨーク	1.9	1.9	0.9	77	105	3
ボンベイ	23.5	-0.9	-1.3	0	0	4	マナウス	26.0	0.3	0.6	354	126	4
ホンコン	16.9	1.3	1.3	29	107	4	リオデジャネイロ	25.6	-0.8	-0.9	159	106	4
チャンチュン	-15.7	1.0	0.5	5	139	5	ロサリオ	22.9	-1.2	-1.3	135	103	4
ベキン	-2.3	2.3	2.1	0	0	2	ホノルル	22.4	-0.1	-0.1	20	21	1
シャンハイ	4.8	1.1	0.6	46	105	4	タヒチ	27.5	1.0	1.4	202	61	3
バンコク	28.4	2.2	1.8	3	30	—	ダーウィン	28.1	0.0	0.0	922	223	6
マニラ	26.4	1.1	0.8	2	14	1	キャンベラ	22.3	2.2	1.7	82	137	4

## 1月の世界の天候

1月の月平均500 mb 天気図では、シベリア東部と、東ヨーロッパ、アラスカの南に正偏差の中心があり、カナダ北東部は広く負偏差におおわれた。

## ① 東アジアの高温

東アジアは、ほぼ全域で平年より気温が高く、特に北日本、シベリア南東部および中国北部では、顕著な高温となった。降水量は中国の長江流域を中心とする中・南部で多雨になった。

## ② 南アジアの高温

インド南部からインドシナ半島、フィリピン南部にかけての地域では高温になった。一方、アフガニスタン、パキスタン、インド北部は昨年12月末からの寒波により、多くの死者を出した。この地域では、1月の月平均気温が平年より低くなった。

## ③ 東ヨーロッパの少雨

チェコスロバキアのブラハで月降水量が4 mm (平年の19%) など、東ヨーロッパでは少雨になった。また、ヨーロッパではイギリス、アイルランドを除き、全般に気温が高かった。地中海地方では月の後半に寒気が入り、気温が平年を下回るようになった。

## ④ カナダ北東部の低温

月をとおして上空に寒気が停滞したカナダ北東部は低温となった。ラブラドル半島の北部では月平均気温が平年より8°C以上も低くなったところがある。

## ⑤ アメリカ合衆国南東部の多雨

アメリカ合衆国のテキサスからフロリダにかけてのメキシコ湾沿岸の地域と東部の沿岸部では多雨となった。一方、西部の太平洋沿岸の地域は雨の少ない状態が続いており、1月も一部で少雨となった。サンフランシスコでは、昨年10月からの4カ月の降水量が、64 mm (平年の22%) となっている。

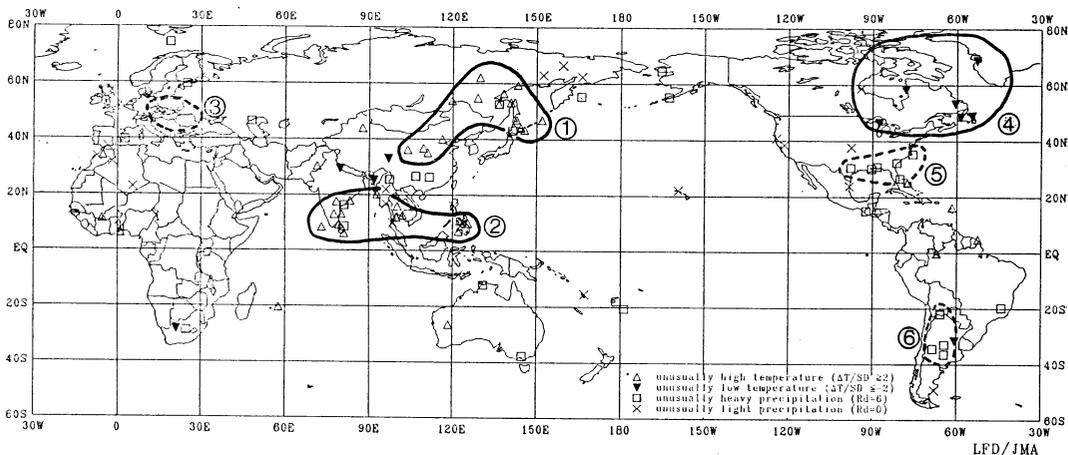
## ⑥ アルゼンチンの多雨

アルゼンチンでは南部で少雨のところもあったが、中部から北部にかけては多雨となった。ブラジルでも東部で雨が多かった。しかしブラジル南部は中旬まで雨が少なく、大豆などの作物への影響が心配されたが、下旬になって、雨が降るようになった。

## ⑦ その他

オーストラリア北部ではモンスーンの活動が活発で雨が多かった。

(気象庁長期予報課 三浦芳敬)



1991年1月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

△：高温 ▼：低温

□：多雨 ×：少雨

1991年1月の気候表の説明。平均値は1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。